東北電力グループの各種PPAサービスの比較［赤字がPPA同士を比較したメリット部分］

PPAサービス		オンサイト	オフサイト（フィジカル）	オフサイト（バーチャル）
スキーム	販売対象	再エネ電気（電気+環境価値）		環境価値
	価格変動	固定単価※10	固定単価※10 （託送費・再エネ賦課金を除く）	変動 （固定単価でのご提案も可能）
	契約期間	原則20年程度	原則20年程度（お客さまニーズに応じて柔軟に対応可能）	
	発電所の設備管理	東北エネルギーサービス※11	発電事業者	発電事業者
コスト※13	導入時の初期費用	原則不要※12	不要	不要
	燃料費等調整額	不要	不要	不要
	再エネ賦課金	不要	必要	通常電気で計上
	託送費	不要	必要	発電側は必要 （接続側は通常電気で計上）
	卸電力市場の変動リスク	なし	なし	あり （固定単価の場合、変動リスクなし）
制約	電源種別	太陽光	太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス	
	発電量の制約	設置場所近傍に限定	複数の電源を束ねて供給可能	
	電力系統利用の制約	考慮不要	制約を受ける場合あり	

※10：円/kWhの固定単価を設定します。なお、お客さまの需要や自家消費電力量の大幅な減少、制度変更、物価上昇や容量市場を含む市場動向の大幅な変動などに伴い、PPA料金単価を変更する場合があります。 ※11：電気主任技術者の選任や保安責任はお客さまでご対応いただきます。 ※12：一部発生する場合があります。 ※13：通常電気の供給分は燃料費等調整額、再エネ賦課金、託送費ともに発生します。

「オンサイト・オフサイトPPA」お客さま導入事例

原則、初期投資・管理コスト・突発コストがゼロ オンサイト型PPAサービスの導入

●東北電力グループのオンサイトPPAサービスは原則、「初期投資」「管理コスト」「故障などの突発コスト」がゼロで再エネ由来の電気をご使用いただけます。

●一関ヒロセ電機株式会社さまは、ソーラーカーポートによる自家消費型太陽光発電設備を導入し、2024年4月から運用を開始しました。設置した約2,000枚の太陽光パネルにより、年間約447tのCO_2排出量削減を見込みます。※14

●太陽光発電の導入により、脱炭素化への前進や、環境に配慮した企業としてのPRも可能となります。

※14：東北電力の2023年度報告の排出係数により算定。



一関ヒロセ電機さま ソーラーカーポート写真

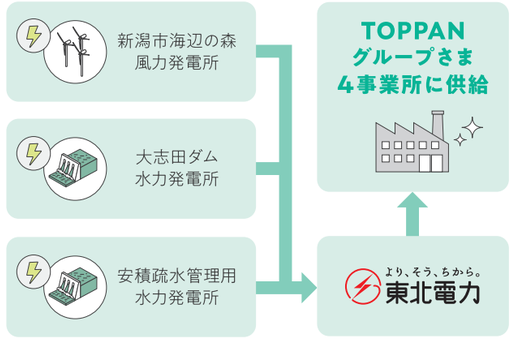
風力発電所と水力発電所を活用した オフサイト型PPAサービスの導入

●本サービスは、風力発電所と水力発電所で発電した再エネ由来の電力を、TOPPANグループさまの4事業所に供給するものです。

●本サービスの導入により、TOPPANグループさまでは、年間約13,000tのCO_2排出量削減を見込んでいます※15。また、4事業所では、近隣地域で発電した自然由来の電力を活用することで、地域活性化にも貢献します。

●風力発電所と水力発電所を活用※16した本サービスは、TOPPANグループさまとして初の導入であり、東北電力としても、初のサービス提供となります。

※15：東北電力の2023年度報告の排出係数により算定。
※16：発電量のピークを迎える時期が冬季の風力発電所と夏季の水力発電所（流れ込み式）を併用することで、年間を通じた供給電力量の均平化につながります。



「コーポレートPPA」について、詳しくは下記までお問い合わせください。

より、そう、ちから。
東北電力
販売カンパニー法人営業部
グリーンエネルギー事業室
〒980-8550 宮城県仙台市青葉区本町一丁目7番1号 TEL.050-7787-5045

“東北電力”だからできる
最適なご提案。
https://solution-next.tohoku-epco.co.jp/

このパンフレットは2026年11月現在のものです。

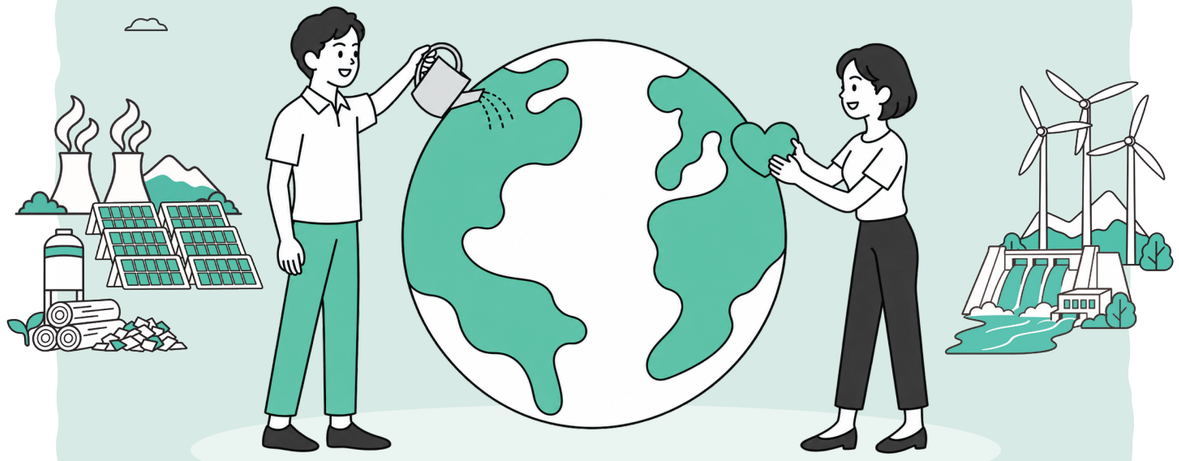
エネルギーのその先へ
東北電力の法人ソリューション

企業向け再生可能エネルギーサービス

コーポレートPPAサービス

Corporate Power Purchase Agreement

さあ、
クリーンな選択で
持続可能な社会を。





より、そう、ちから。
東北電力グループ



「コーポレートPPA」で何が変わる？答えは中面へ。



「コーポレートPPA*」とは

＊Power Purchase Agreement：電力購入契約

●コーポレートPPAとは、企業や自治体などの法人のお客さまが太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーを長期にわたってご購入いただく契約方法です。

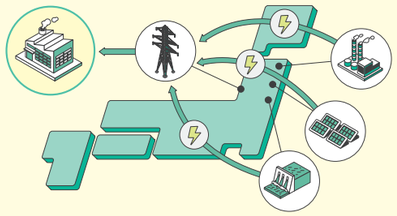
●長期にわたって安定的に、再エネ由来の電気や環境価値をご購入できるメリットがあります。

●PPA供給部分においては、基本料金が無く、初期の導入コストは原則不要※1、燃料費等調整額の影響を受けない固定単価（円/kWh）※2でご提供します。

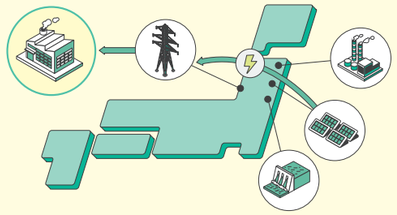
●発電設備が新設の場合、長期にわたってRE100に適合した電気をご購入できます。

●コーポレートPPAは、大きく分けてオンサイトPPAとオフサイトPPA（フィジカル・バーチャル）の契約形態があります。

通常電気の供給イメージ



オフサイトPPAの供給イメージ



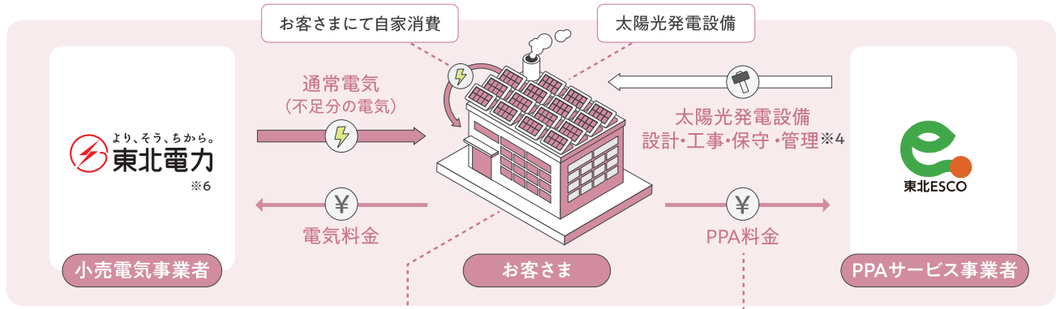
※1：オンサイトPPAについては一部発生する場合があります。
※2：お客さまの需要や自家消費電力量の大幅な減少、制度変更、物価上昇や容量市場を含む市場動向の大幅な変動などに伴い、PPA料金単価を変更する場合があります。

オンサイト PPAサービスについて

お客さまの需要場所と同じ敷地内の屋根上や空き地に太陽光発電設備を設置し、発電した電気を自家消費いただくサービスです。東北電力グループの東北エネルギーサービス（東北ESCO）が設備の設計、施工および施工後の保守メンテナンスを実施するため、ワンストップでのサービス提供が可能です。※3※4

＼こんな悩みを抱えているお客さまにオススメです／

- 敷地内のスペースや屋根上を活用したい！
- 太陽光を導入したいが、発電設備の保守メンテナンスは任せたい！※3※4
- 再エネ賦課金、託送費を抑えたい！※5



望ましい設置条件
- 屋根上の場合は折板屋根（ハゼ式）
- パネル設置面積が2,000m²以上
- 昼間の電気需要が大きく、土日祝も稼働がある

オンサイトPPA供給部分は再エネ賦課金と託送費が発生しない

※3：一部の工事はお客さまにてご対応いただく場合があります。 ※4：電気主任技術者の選任や保安責任はお客さまでご対応いただきます。
※5：小売電気事業者から供給する不足分の電気は、燃料費等調整額、再エネ賦課金、託送費ともに発生します。
※6：東北電力以外の小売電気事業者からご購入いただく場合でも、オンサイトPPAサービスのご提供は可能です。

オフサイト（フィジカル） PPAサービスについて

お客さまの需要場所と異なる場所に設置された、特定の再エネ発電所からの電気を、電力系統を介して環境価値とともに長期にわたってご購入いただくサービスです。お客さまの需要場所では工事を伴わず、導入時の初期費用も発生しません。

＼こんな悩みを抱えているお客さまにオススメです／

- 敷地内に太陽光の導入スペースがないけど、再エネを導入したい！
- 自社の電気設備を工事せずに再エネを導入したい！
- 夜間も含めて安定した再エネを導入したい！



発電所の施工や保守メンテナンスは再エネ発電事業者側で実施

- 太陽光のほか、風力、水力、バイオマスの電源もご提案可能
- 複数の発電所から複数拠点への供給も可能

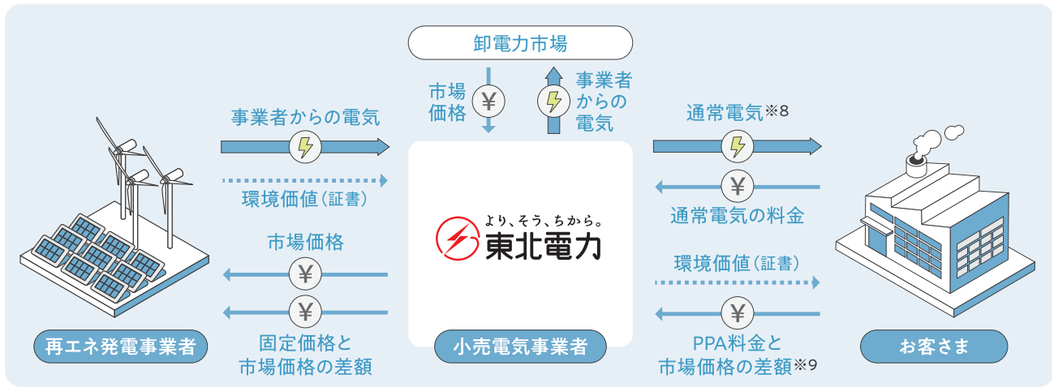
平日以外の土日、祝日でも一定の電気需要があり、「昼間の需要が大きい」「夜間にも需要がある」のいずれかを満たす場合は導入しやすい

オフサイト（バーチャル） PPAサービスについて

発電事業者からの再エネ電気を「環境価値」と「電気」に分離し、「環境価値」をお客さまにご提供するサービスです。「環境価値」は、トラッキング付非FIT非化石証書としてご提供するため、エリア※7を跨いだ対応が可能で、今後の再エネ比率向上の手段として期待されています。

＼こんな悩みを抱えているお客さまにオススメです／

- 環境価値を長期にわたって安定的に調達したい！
- 30分値同時同量に縛られず、再エネを大量導入したい！
- 東北・新潟⇔関東のエリアを跨いで、環境価値を活用したい！



※7：各一般送配電事業者が供給する区域を指します。 ※8：通常電気を東北電力以外の小売電気事業者からご購入いただく場合であっても、バーチャルPPAサービスのご提供は可能です。 ※9：料金は差金決済となります。固定単価でのご提案も可能な場合があります。